

甲佐町の次世代を担う新成人が集う

平成22年甲佐町成人式・1月10日(日)町生涯学習センター



幸せな二十年間



田上えりさん

〔天町区〕

沢山の懐かしい顔ぶれが揃い、成人という大きな節目を迎えられることを幸せに思います。このような素晴らしい式を御準備していただいた皆様本当にありがとうございます。この節目において考えることは、私たちは大人として責任のある行動をとっていかねばならないということです。子どもにみられても恥ずかしくない、手本となるような大人でありたいと思います。

この二十年間を振り返ると、本当に沢山の友達やお世話になった先生方、家族に恵まれてきたと思います。特に中学での部活の仲間、顧問の先生には感謝の気持ちでいっぱいです。みんなで勝ち取った中体連団体優勝は、鍛えられた精神力や仲間との絆など沢山得ることができたものの証となっています。部活で学んだことが、こんなにも心の励みや支えになるとは思ってもいませんでした。部活に入っ

てよかったと心から思います。そして私は第二高校理科を卒業し、現在九州工業大学に進学し、電気エネルギーを専攻しております。親のすねをかじりながらではありますが、日々充実した大学生活を送っています。卒業後にはエネルギー問題の解決に携わる仕事に就き、社会に貢献したいと思います。もう就職している人、これから就職の人、ママになった人、学生の人、いろいろな人がいるようですが、これからお互いの

祝 成人



成長や変化を見守っていられたらいいですね。最後に、今まで育ててくれたお父さん、お母さん、ありがとうございます。もうすこし迷惑をかけそうですが、これからもよろしくおねがいます。お互いに支え合ってくださいしよう。

成人式を迎えて



小林孝也さん

〔下豊内区〕

今日成人式を迎えて、恩師や懐かしい顔の友人達と久しぶりに再会できたことをうれしく思います。

友人達と話していると昔と人柄は変わっていませんでしたが、ふとした瞬間に大人になったと感じることがありました。

これまでの二十年間を振り返ると、様々な方々に支えられてきたことに気づかされます。幼稚園、小学校、中学校、高校の先生など、特に家族には感謝をしなければなりません。今こうして大学に通えていることも家族の支えがあつてのことです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

その感謝を形に表わすためにも、大人としての責任と自覚を持ち、生きていこうと思います。しかし、これからは様々な苦難が待ちうけていると思いますが、ある漫画の言葉を胸に頑張っていこうと思います。

「あきらめたら、そこで試合終了ですよ。」